

昭和五十四年三月招集

第一回館山市議會定例会會議錄第一号

館山市議會

目次

| | | |
|------------------|-------|---|
| 日時 | | 一 |
| 場所 | | 一 |
| 出席議員 | | 一 |
| 欠席議員 | | 一 |
| 出席説明員 | | 一 |
| 出席事務局職員 | | 二 |
| 議事日程 | | 二 |
| 開會 | | 三 |
| 議長の報告 | | 三 |
| 議案の配付 | | 三 |
| 會議録署名議員の指名 | | 三 |
| 会期の決定 | | 三 |
| 會議日程の決定 | | 四 |
| 議案第一号乃至議案第二十五号 | | 四 |
| (施政方針並びに提案理由の説明) | | 四 |
| 延會 | | 四 |
| 本日の會議に付した事件 | | 四 |

一、昭和五十四年三月二日(金曜日)午前十時

一、館山市役所議場

一、出席議員 二十九名

| | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 一 番 | 吉田 勇治郎 | 二 番 | 伊藤 幸太郎 |
| 三 番 | 矢野 寿夫 | 四 番 | 押元 稔 |
| 五 番 | 黒川 平治 | 六 番 | 鈴木 正義 |
| 八 番 | 松下 正己 | 九 番 | 鈴木 稔 |
| 一〇 番 | 流山 源次郎 | 一 番 | 近藤 好雄 |
| 一二 番 | 栗原 一雄 | 一 番 | 林 豊 |
| 一四 番 | 石井 輝久 | 一 番 | 辻田 実 |
| 一六 番 | 安西 益男 | 一 番 | 石井 武敏 |
| 一八 番 | 渡辺 軍治郎 | 一 番 | 渡辺 昭夫 |
| 二〇 番 | 和田 一郎 | 二 番 | 田中 禄郎 |
| 二二 番 | 五十嵐 昇 | 二 番 | 菊井 敏博 |
| 二四 番 | 西村 真次 | 二 番 | 伊賀 多朗 |
| 二六 番 | 藤田 益治 | 二 番 | 遠山 日木子 |
| 二八 番 | 石井 正 | 二 番 | 望月 照正 |
| 三〇 番 | 山口 康 | | |

一、欠席議員 一名

七 番 本間 昭二

一、出席説明員

| | |
|------------|-------------|
| 市長 半澤 良一 | 助役 小倉 澄男 |
| 収入役 長谷川 広治 | 総務部長 鈴木 弘道 |
| 経済部長 太田 博雄 | 市長公室長 汐崎 政光 |
| 水道課長 庄司 利光 | 教育委員長 関 和雄 |

教育委員会
教育長 安田 豊作

農業委員会
委員長 秋山 芳次

農務局長 石原 斉

選挙管理委員長 鈴木 正

選挙管理委員会書記長 渡辺 弘

監査委員 斉藤 一男

監査事務局長 角田 巖

一、出席事務局職員

事務局局長 高尾 豊

事務局員 石井 敏夫

書記 兵藤 恭一

書記 鈴木 哲

書記 庄司 徹

書記 福田 英雄

一、議事日程(第一号)

昭和五十四年三月二日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第

一号

昭和五十四年度館山市一般会計予算

議案第

二号

昭和五十四年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第

三号

昭和五十四年度館山市と畜場特別会計予算

議案第

四号

昭和五十四年度館山市国民宿舎特別会計予算

議案第

五号

昭和五十四年度館山市ユースホステル特別会計予算

議案第

六号

昭和五十四年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第

七号

昭和五十四年度館山市水道事業特別

日程第四

議案第

八号

会計予算

館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

九号

非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

十号

館山市職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第

十一号

館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

十二号

館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

十三号

新たに生じた土地の確認について

議案第

十四号

新たに生じた土地を市の区域内に編入することについて

議案第

十五号

館山市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

十六号

館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第

十七号

館山市児童家庭保育に関する条例を廃止する条例の制定について

議案第

十八号

館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第十九号 館山市公害防止条例の一部を改正する条例の制定について

議案第二十号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第二十一号 館山市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第二十二号 市道路線の認定について

議案第二十三号 昭和五十三年度館山市一般会計補正予算(第六号)

議案第二十四号 昭和五十三年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

議案第二十五号 昭和五十三年度館山市水道事業特別会計補正予算(第三号)

開 会 午前十時三分開会

○議長(吉田勇治郎君) 本日の出席議員数二十八名、これより昭和五十四年第一回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長(吉田勇治郎君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第百二十一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がございましたので御了承願います。

なお、監査委員より十二月乃至二月実施の監査の結果が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長(吉田勇治郎君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長(吉田勇治郎君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

一五番議員辻田 実君、一六番議員安西益男君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長(吉田勇治郎君) 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本三月二日から三月二十三日までの二十二日間ということであります。

お諮りいたします。会期を二十二日間と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって会期は三

月二日から三月二十三日までの二十二日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（吉田勇治郎君） 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手もとに配付いたしました会議日程表は本定例会のおおむねの日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（吉田勇治郎君） 日程第四、議案第一号乃至議案第二十五号を一括して議題とし、これより昭和五十四年度施政方針並びに議案の提案理由の説明を求めます。

施政方針並びに提案理由の説明

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに三月定例市議会を招集し、昭和五十四年度一般会計及び特別会計の予算案、議案につきまして御審議をお願いいたすことになりましたが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べたいと存じます。

すでに御承知のとおり、わが国の経済は石油危機後の大きな環境の変化を余々に乗り越えつつありますが、依然として企業倒産がみられ、減量経営が叫ばれ、雇用不安に直面するなど、なお幾多の困難な問題を抱えております。

こうした厳しい激動の中で迎える昭和五十四年度の地方財政は、健全化を基調とした財政確立が基本的課題であり、一方多様化する行政需要に対し適切に対応しなければなりません。

このような中で、本市は昭和十四年十一月三日市制施行以来四十周年の記念すべき年を迎えました。顧みますと、軍都としての色彩が強かった時代に始まり、昭和二十年の終戦によって軍に依存していた経済から地方産業を中心とした経済への転換を余儀なくされました。さらに、昭和二十九年周辺六カ村が合併し、その市域を拡大するとともに、本市が南房総の政治、経済、文化の中心都市として確立されたのであります。

このほか、南房総国定公園、あるいは国民休暇村の指定などによる休養文化都市としての使命が生み出されたのであります。

この間、先人により幾多の困難を克服され、今日の館山市の発展をみると、市政の担当者として改めてその重責を痛感いたします。

私は、市長就任以来、一貫して「人間尊重」、「市民生活優先」を基本理念として、「明るく豊かな暮らし高い文化福祉都市」の実現に向かって最善の努力をしてまいりましたが、市制施行四十周年を契機といたしまして、より一層市民生活の安定、向上を図るべく各種施策を推進する所存でございます。

さらに、安房地方における経済的、社会的基盤に立つ中心都市

として広域的見地から地域の核としての都市機能を充実させ、新しい時代にふさわしい生活文化を創造するとともに、この恵まれた風土の中で育まれた豊かな人間性と連帯意識を深め、定住できる魅力ある都市づくりに努めてまいりたいと存じます。

以上の観点に立ち、昭和五十四年度の当初予算につきましては、健全財政の基調を堅持しつつ、財政の重点的かつ効率的な運営を図りながら、次の項目を主要施策とし、積極的な予算を編成いたしました。

即ち、

一、住みよい環境づくり

二、福祉社会づくり

三、教育環境づくり

四、産業の基盤づくり、であります。

以下、主要施策の概要につきまして順次ご説明いたします。

第一は、住みよい環境づくりであります。

生活関連施設といたしまして懸案となっております衛生センタ一の建設につきましては、その早期解決が迫られておりましたが、より早く建設候補地及び機種の設定まで進展し、出野尾地区との合意が得られましたので今後とも地域住民との協議の中で要望等も十分配慮しながら早期に用地取得及び施設建設に着手すべく六億六千四百四十万円を予算計上いたしました。

次に、道路整備につきましては、年次計画に基づき地域の実情を勘案しながらその整備を図っておりますが、引き続き臨時地方道整備事業債等により、道路新設改良及び橋梁、下水路等、生活環境の整備を推進するため二億九千四百一万余円を予算計上いた

しました。

公営住宅関係につきましては、昨年度老朽化の著しい那古住宅を建て替えましたが、近年の世帯構成の細分化等に伴う住宅不足の緩和策と併せ、土地の効率的利用を図るため、引き続き同地内に一種中層耐火構造四階建一棟十六戸を建設すべく一億二千二百七十余円を予算計上いたし、公営住宅の整備充実を図っております。

公園の整備につきましては、長年の願望でありました総合的なレクリエーション、スポーツ施設としての館山運動公園の建設が、昨年度、県の都市計画事業として着工の運びとなり、今後は本格的な事業施行となるわけでございます。このため、昭和五十四年度事業に対する市負担として五千七百五十万円を予算計上いたしました。今後は更に、事業年度の短縮を図るべく関係機関に働きかけ、早期完成に努力する所存であります。また、昨年度海岸線の見直しを図るべく海浜診断を実施いたしました。今後は公園等も含めた総合的な土地利用を再検討する中で活用を図ってまいりたいと考えております。本年度は、都市公園として利用されております沖の島公園を整備するため六百万円を予算計上いたし、市民の憩いの場として更に整備を進めてまいります。

次に、上水道の整備につきましては、現在未設置地域となっております館野、九重地区への給水対策として昨年度実施いたしました水源調査に基づき、水道布設につきましては具体的な準備、調査を進め、早期実現に努めてまいりたいと考えております。また、本市における水道供給の現状から水源の増大を図るため、ダム下流から農業用水として使用しない期間に揚水し、作名ダムの給水能力の増加を図り、更に夏季対策といたしまして、作名浄水場による過設備を

増設し、給水施設能力の拡大を図る所存であります。以上により、水道改良事業費として二億二千六十六万余円を予算計上いたしました。

次に、第二に福祉社会づくりであります。

まず、救急医療体制につきましては、現在医師会の協力を得て祝祭日等の診療を初め、救急患者の搬送等に効果を発揮いたしております情報システム網の設置等、施策を講じておりますが、更に、昨年十月より日曜日の夜間診療が加わり、これにより一年を通じて救急医療体制が確立されたわけでございますが、今後も市民が安心して生活できる体制を推進してまいりたいと考えております。

また、健康づくり対策といたしましては、各種検診の実施、健康相談等、市民の健康管理及び増進についての施策を推進しておりますが、この度、日本医師会から本市が全国三地区指定のうちの一地区として健康教育モデル地区の指定を受けましたので、これを機会に更に健康づくりに対する思想の普及、健康教育等地域住民に密着した健康づくり対策を積極的に展開する所存であります。

また、近年社会問題ともなっております防災対策につきましましては、地震対策基礎調査を二カ年計画により実施し、その調査に基づき今後の具体的な防災計画を策定し、市民の生命と財産を守るための施策を講じてまいりたいと考えておりますが、同時に、万一の災害時に備え迅速かつ的確な情報収集及び伝達を図るため超短波防災用無線を設置し、また、必要となる飲料水を確保するため災害用浄水機、更に耐震性井戸付貯水装置を設置し、市民生活

の安全の確保を図ってまいります。このため防災対策費として三千万余円を予算計上いたしました。

次に、コミュニティづくりにつきましては、今日まで各地域や諸団体等とあらゆる機会をとらえ啓蒙、育成に努め市民の意識、理解も浸透しつつあると考えておりますが、引き続きコミュニティづくりを推進する中で地域社会における連帯意識を、一層高めるとともに市民と一体となった行政を進めるため地区コミュニティへの援助を図り、より良い町づくりを推進してまいります。

福祉対策につきましては、コミュニティづくりと相まって地域ぐるみの福祉活動を推進するため、福祉活動推進員一五六名が決定されましたので、各福祉団体等との協力とも併せ、積極的な福祉社会づくりを展開してまいります。

また、心身障害者対策といたしまして、十五歳以上の人を対象に福祉作業所を建設いたし、生活指導を実施する中で自立への助長を図り、心身障害者に対する福祉施策をより充実するため、建設費といたしまして一千六百七十余円を予算計上いたしました。

次に、第三に教育の環境づくりであります。

まず、学校施設関係につきましては、年次計画に基づき整備を図っておりますが、教育の施設、環境が児童、生徒に与える教育的効果は極めて大きなものがあると考えられますので、今後も積極的に学校施設の整備、充実を図ってまいりる所存であります。本年度事業といたしましては、文部省補助対象事業として、第三中学校の建設、館山小学校校舎の増築並びに神戸小学校校舎及び同校屋内運動場、更に、同幼稚園園舎の改築をいたし、また、防衛施設庁補助事業として、那古小学校及び西岬中学校校舎の改築を

実施いたします。以上により学校等整備事業費として十億二千五百二十万余円を予算計上いたしました。

また、学校プール建設につきましては、第一中学校に新設するため三千四百万円を予算計上いたしました。これが完成いたしますと建設計画は完了することになり、児童、生徒の体力づくりの向上に一層役立つことと存じます。

次に、社会体育関係につきましては、市民の健康、体力づくりの場として、更に、市民運動場の整備を図るとともに、引き続き学校体育施設を広く開放し、市民総スポーツ運動を推進してまいります。このため、関係事業費として八百二十万余円を予算計上いたしました。

次に、第四に産業の基盤づくりであります。

まず、農業につきましては、農業経営の根幹となります基盤整備を引き続き県営ほ場整備として本市の東部及び西部地区を対象に実施いたしますが、本事業も昭和四十七年度施行以来、順調に進展しており、近代的な農業経営が進められております。また、水田利用再編対策といたしましては、転換水田整備事業及び転作特別対策事業を引き続き推進するとともに、農用地を保護するため、河川護岸を初め、用排水路及び農道の整備等に対する助成等、農業の振興を図るため六千五百三十万余円を予算計上いたしました。

水産業につきましては、農業と同様に第一次産業として極めて重要であります。水産業を取り巻く環境は厳しく、特に二百カインリ問題を契機といたしまして沿岸漁業が重要視されている今日、本市におきましてもこれに対処するため種々施策を講じておりま

すが、引き続き生産基盤である漁港の整備を初め、人工魚礁の造成、また、あわび、くるまえびの種苗放流等、水産資源の培養を図り、いわゆる資源培養型漁業を推進し、漁業の近代化を進め、水産業の振興を図ってまいります。このため関係事業費として九千四百二十万余円を予算計上いたしました。

商業振興につきましては、近年の経済社会の発展に伴い、地域商業にも大きな影響を与えており、これが対応策として地域産業の機能、基盤の確立と地域の特性を生かした商業活動の活発化を促進する必要があります。

このようなかで昨年度策定されました地域商業振興計画は、今後の商業振興対策に期待されるところ大であり、本市といたしましても商工会議所等、関係団体と十分連携、協調を図りながら商業振興を推進する所存であります。また、地域商工業の核ともいふべき商工会館建設が昨年度工の運びとなりましたが、この建設に対し引き続き助成するため一千二百五十万余円に防衛施設庁の補助を加えて予算計上いたしました。

次に、観光につきましては、多季型観光地へ脱皮すべく受け入れ体制の整備を図る一方、観光客誘致のための宣伝を重ねておりますが、更に、観光名刺による関係者及び職員等を先兵としての観光宣伝も展開してまいりたいと考えております。また、観光館山の表玄関をあずかる駅前観光案内所がありますが、現在の施設は規模も小さく、また、位置の問題もありますので、これを駅前の日東交通市内線発着所の位置に新設し、案内業務の充実を図るため、その建設費として七百八十万円を予算計上いたしました。更に、昭和三十三年、南房総国立公園に指定されて以来、本市に

おける観光発展の基礎をなし、特に地域発展に貢献してまいりました国民宿舎鳩山荘が建設後既に十九年を経過いたし、老朽化が著しいためこれを全面改築し、より親しまれ、愛される近代的な国民宿舎として再出発すべく、建設関係費といたしまして三億九千八百十万余円を予算計上いたしました。

以上の施策を中心として、昭和五十四年度一般会計予算の編成を行った結果、歳入歳出予算の総額は八十億二千三百万余円で、前年度当初予算に対し、十八億八千六百萬万余円の増額となり、三〇・七パーセントの伸長率となっております。

次に、歳入予算の内訳について申し上げます。

まず、歳入の大宗をなす市税につきましては、経済の動向及び地方税制改正を勘案しまして、二十六億三千八百二十万余円を計上、前年度対比三億一千三百九十万万余円の増、構成比は三十二・八八パーセントであります。このほか、地方譲与税七千八百四十万余円、娯楽施設利用税交付金三千三百万円、自動車取得税交付金七千六百六十万余円、国有提供施設等所在市町村助成交付金五千四百七十万余円、地方交付税十二億九千九百二十万余円、構成比十六・一九パーセント、交通安全対策特別交付金一千二百八十万円、分担金及び負担金七千九百五十万余円、使用料及び手数料一億七千四十万余円、国庫支出金十七億五千九百三十万余円、構成比二十一・九二パーセント、県支出金二億八千万円、財産収入二千七十七万余円、寄附金一千四百十万余円、繰入金四千二百四十万余円、諸収入一億九千五百五十万余円、市債十二億六千八百四十万円、構成比十五・八一パーセントをそれぞれ計上いたしました。

特に、地方交付税と市債につきましては、国が地方財政対策として、昭和五十四年度の地方財源不充足見込額四兆一千億円について地方交付税二兆四千六百億円を増額し、残り一兆六千四百億円は、建設地方債の増発により補てんするため伸びを見込んだものであり、そのほかにつきましては、前年度の実績等により積算いたしましたものであります。

次に、歳出予算の内訳について申し上げます。

まず、歳出予算の性質別についてであります。が、人件費二十一億一千五百七十七万余円、構成比二十六・三七パーセント、物件費五億七千九百萬万余円、構成比七・二一パーセント、扶助費十一億八千八百四十万余円、構成比十四・七三パーセント、補助費等五億四千七百四十万余円、構成比六・八二パーセント、普通建設事業費二十七億八千七百八十万余円、構成比三十四・七四パーセント、公債費五億百二十万余円、構成比六・二五パーセント、その他三億一千八十万円となっております。

以下、各款別にその概要を申し上げます。

第一款、議会費は、議会運営に要する経費として、一億四千二百九十九万余円、前年度対比二千三百九十万余円の増となっております。

第二款、総務費は、市制四十周年記念事業費、地震対策基礎調査費及び防災用資器材整備等の防災対策費、コミュニティ推進事業費のほか、一般管理費、文書広報費、企画費、交通、防犯関係費、徴税費、選挙費等の経費として、九億一千四百二十万余円、前年度対比九千万円の増となっております。

第三款、民生費は、地域ぐるみ福祉活動費、福祉作業所建設費、

私立保育園運営費補助費、社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費等で、十六億四千七十万余円、前年度対比二億七千九百六十万余円の増となっております。

第四款、衛生費は、衛生センター建設費としまして、五十四、五十五年度の二カ年継続事業で用地取得及び施設建設を促進すべく今年度分六億六千四百四十万円を計上しました。

また、水道事業特別会計へ作名ダムの給水施設能力の拡大を図るための事業費及び赤字補てん等に充てるため一億円の繰出金を計上し、更に、本年度から新たに健康づくり推進事業費を計上したほか、乳幼児医療給付金、各種予防接種、結核、がん等の検診事業費、正木及び藤原衛生処理場の維持管理費、排水路清掃費、環境保全公社出資金等で十三億八十万余円、前年度対比七億二十万余円の増となっております。

第五款、労働費は、勤労者厚生対策預託金、勤労者団体補助金等、勤労者の福利厚生を増進するための経費として、七百十万余円、前年度対比六十万余円の増となっております。

第六款、農林水産業費は、農業費として、野菜指定産地整備近代化事業、うまいくだもの作り推進事業、転換水田整備事業、安房中央土地改良区事業、小規模土地改良事業等の投資的経費に対して補助金を計上するとともに幹線排水路整備事業費、農道保全のための河川護岸工事費、農業用施設等補修用材料費等を計上いたしました。

水産業費の主なもの、漁業近代化施設設置事業、漁業操業安全施設設置事業、水産増殖事業等に対する補助金を計上するとともに市管理漁港整備費並びに県営漁港整備事業負担金等、漁業の

近代化を図るための経費を計上し、総額二億八千九百十万余円、前年度対比四千九百八十万余円の増となっております。

第七款、商工費は、昨年度に引き続き商工会議所建設費補助金、中小企業融資預託金等を計上いたしました。

また、観光費については、観光案内所建設費、海水浴場関係費を中心に観光宣伝費、観光協会補助金等を計上いたしました。更に、国民宿舎鳩山荘改築に伴う不足財源五千二百八十万円を繰出金として計上し、総額で三億一千八百七万余円、前年度対比一億八千八百五十万余円の増となっております。

第八款、土木費は、昨年度に引き続き館山運動公園の整備負担金並びに那古市官住宅の建設費のほか、川名橋架換工事、道路新設改良費、河川排水路整備費、港湾整備費、都市計画事業費等で七億四千七百九十万余円、前年度対比七千八百二十万余円の増となっております。

第九款、消防費は、防火水槽七基、詰所新築二カ所、中型消防自動車二台等、消防団関係経費並びに常備消防関係の負担金等で二億七千八百九十万余円、前年度対比二千四百六十万余円の増となっております。

第十款、教育費は、本年度も義務教育施設整備に重点をおき、那古小学校第三期防音改築、館山小学校校舎増築、神戸小学校校舎並びに屋内運動場改築、第三中学校建設、西岬中学校防音改築、第一中学校プール建設費等を、幼稚園関係費では、神戸幼稚園舎改築費等を、社会教育関係費では、市制施行四十周年記念行事として、オペラ公演費、館山城跡発掘調査費等を、保健体育関係費では、市民運動場整備費、市民体育館体育器具購入費等をそれ

それ計上し、総額十八億四千五百五十万余円、前年度対比二億五千三百二十万余円の増となっております。

第十一款、災害復旧費は、農業施設災害補修用材料費で三百万余円を計上いたしました。

第十二款、公債費で、五億百三十万余円、

第十三款、諸支出金で、一千三百七十万余円、

第十四款、予備費で二千万円をそれぞれ計上いたしました。

以上で、一般会計当初予算に計上した概要について申し上げますが、今後の補正財源見込みとして、特別交付税、前年度繰越金、市債等があります。これらは、補助事業等の追加に伴う財源に、また、職員給与改定について、当初予算計上が、二・五パーセントでありますので、人事院勧告が上回った場合並びに当初予算でできなかった事務事業等の財源として充たいたしたいと考えております。

次に、継続費として、衛生センター建設費、債務負担行為として、第三中学校校舎新築工事費及び設計監理委託料について設定し、地方債としては、九重保育園園舎改築事業ほか十七件、また、歳計現金の一时的不足に備えて、一時借入金の最高限度額を八億円と定めることいたしました。

以上が、議案第一号の概要でございますが、次に、議案第二号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第二号、昭和五十四年度館山市国民健康保険特別会計予算について申し上げます。

国保事業につきましては、引き続き本年度も医療技術の進歩により高度な医療が行われるようになったことによる自然増、また、

受診割合等を考慮いたしまして、医療給付費が増嵩の傾向にあると判断いたしまして積算しました。国保税については、特定財源を適正に把握した上で、歳入歳出それぞれ十七億八千万余円を計上いたしました。なお、国保税については、本年度の本算定時点までは流動的な要素もございますので、その時点で十分な検討を加え、住民の負担軽減を図る考えてございます。

次に、議案第三号、昭和五十四年度館山市と畜場特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ一千一百十万余円を計上いたしました。

議案第四号、昭和五十四年度館山市国民宿舍特別会計予算でございますが、本年度は懸案でありました施設の整備と近代化を図るため、本年九月より宿舍を鉄筋二階建、一部三階建に全面改築し、国民の福祉増進と観光館山の開発を図るため、この建設費として三億九千八百十万余円、また、本年度営業経費等と併せ歳入歳出それぞれ四億五千五百五十万余円を計上いたしました。

議案第五号、昭和五十四年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ一千七百五十万余円を計上いたしました。

議案第六号、昭和五十四年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ百六十万余円を計上いたしました。

議案第七号、昭和五十四年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入については、水道料金その他一般会計からの補助金等で三億七千万余円、資本的収入として、事業債のほか一般会計からの出資金等で二億三千六百三十万余円、収入合

計六億六百五十万余円、これに対し収益的支出として、営業費用、企業債、利息等で、四億一千五百八十余円、資本的支出として、水道施設等工事費、企業債償還金等で、二億三千六百三十万余円、支出合計六億五千二百一十余円をそれぞれ計上いたしました。本年度事業の主なるものは、夏季並びに洪水対策として作名ダムに揚水設備とろ過設備の増設整備工事費でございます。

次に、一般議案について、その提案理由を申し上げます。

まず、議案第八号、館山市附屬機關設置条例の一部を改正する条例の制定についてであります。議決機關と諮問機關の機能を明確にするため委員等の構成並びに定数について検討を加え、円滑な行政の執行を期するため条例の一部を改正しようとするものであります。

次に、議案第九号、非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例は、昨年三月、一部改正を行ったところでありますが、各種委員会等の委員及びその他の特別職の報酬について別表第一号月額報酬表、第二号日額報酬表及び第三号年額報酬表にわたり報酬額を見直し改めようとするものであります。

次に、議案第十号、館山市職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてであります。今回、一般職員等の普通旅費の改正を行おうとするもので、第一条の改正部分については、一般職員等に係る普通旅費、第二条の改正部分については、常勤特別職に係る普通旅費について改正しようとするものであります。

次に、議案第十一号、館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。これは地方税法の一部改正に関する法案が今国会で審議されており、特に、昭和五十四年度は、固定資産の評価替えによる基準年度に当たり、これに伴う負担調整の事項が審議されている関係から、今年度に限り、固定資産税及び都市計画税の第一期の納期を一カ月繰り下げようとするものであります。

次に、議案第十二号、館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてであります。館山市消防団条例は、昨年三月、一部改正を行ったところでありますが、今回消防団員中、部長、班長その他の団員の報酬年額を改めようとするものであります。

次に、議案第十三号、新たに生じた土地の確認についてであります。昭和五十四年一月十六日付け港管第二百三十三号をもって千葉県知事から公有水面埋立てに伴う新たに生じた土地の確認及び字の区域の設定について依頼がありましたので、地方自治法第九条の五の規定により、館山市沼字西町浜一六八六番一ニ地先から同一六八六番一三ニ地先までに至る七、〇二九・八〇平方メートルの土地について新たに生じた土地として確認の上千葉県知事に届け出ようとするものであります。

次に、議案第十四号、新たに生じた土地を市の区域内に編入することについてであります。前議案第十三号で新たに生じた土地の確認をお願いした館山市沼字西町浜一六八六番一ニ地先から同一六八六番一三ニ地先までに至る七、〇二九・八〇平方メートルの土地を地方自治法第二百六十条の規定に基づき館山市沼字西町浜に編入の上千葉県知事に届け出ようとするものであります。

次に、議案第十五号、館山市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定についてであります。第二条の表中、館山市立第二中学校の位置についての変更は、現校舎の位置が防音校舎改築工事により変更が生じたので改めるものであります。また、館山市立第三中学校を加え同神余中学校、同豊房中学校及び同第四中学校を削る改正であります。かねて統合中学校問題については過去十年以上にわたり検討を続けてきたところであります。最近に至り館山高等学校が新しい場所に移転することが確実視されてきましたので、その跡地に文部省でいう適正規模の第三中学校を新設し、そこに北条地区、館野地区及び九重地区の生徒を収容し、これに伴い現在の第二中学校に館山地区、豊房地区及び神余地区の生徒を収容し、館山市の教育のより効果的な成果を期待するものであります。なお、条例の一部改正の施行日については、昭和五十五年四月一日からとし、昭和五十六年三月三十一日までの間は「第三中学校」とあるのは「第三中学校北条校舎」と読み替えて施行しようとするものであります。

次に、議案第十六号、館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。館山市長須賀百三十七番地に、かねて建設中の館山市営市民体育館が近く竣工するので、本年四月から公の施設として、その位置及び名称を定めるもののほか、公の施設としての利用について施設使用料等を定め円滑なる運営を図るものであります。なお、使用料の額及び区分等については、他の公の施設等勘案の上定めるものであります。

次に、議案第十七号、館山市児童家庭保育に関する条例を廃止

する条例の制定についてであります。児童家庭保育事業については千葉県家庭保育事業委託者助成要綱に基づいた市の要綱を制定し、今後の運営を図ってゆくため今回、館山市児童家庭保育に関する条例を廃止するものであります。

次に、議案第十八号、館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてであります。現行第四条の規定は国民健康保険の被保険者について外国人等の適用を規定した条文であり、国民健康保険法第六条、同法施行規則第一条の規定により条例の定めるところにより外国人を被保険者とすることができることとなっており、また、条例で国名を規定した場合には自由裁量的な余地はなく強制加入するということとなるため、今回条文の整備を行うものであります。また、助産費及び葬祭費についても支給額の改定をそれぞれ行おうとするものであります。

次に、議案第十九号、館山市公害防止条例の一部を改正する条例の制定についてであります。昭和五十一年六月、法律第六十四号をもって振動規制法が新たに制定され、県においても振動規制法に基づく地域指定、また、これに伴って従前の騒音規制法の地域指定の一部改正が行われた関係から、地域指定外の本市においても法に準拠して条例の一部を改正し、市民の健康保護と生活環境の保全を図ろうとするものであります。また、同条例の一部改正と併せて用語の整理を行うものであります。

次に、議案第二十号、館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。昭和五十三年度より二カ年計画による那古市営住宅建替工事のうち、第一次年度分一般向住宅十二戸、身障者向住宅四戸が三月末に完成

しますので新たに別表(1)に加えようとするものであります。なお、他の改正部分については一般住宅と特別目的住宅の区分を明確にしようとするものであります。

次に、議案第二十一号、館山市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。水道の統合についての事業予算が去る十二月の議会で承認されましたが、館山市が現在、認可を受けている四つの水道を統合して今後の水道拡張に対処してゆくための準備も整ったので今回、これが認可を受けるため条例の一部改正を行い、一元化された公の施設、館山市水道として事業区分、給水区域、給水人口及び給水量の変更に關し条例の一部を改正しようとするものであります。

次に、議案第二十二号、市道路線の認定についてであります。道路法第八条第二項の規定に基づき市道神余畑線を認定したいというものであります。延長は、二千二百メートル、幅員は、六メートルであります。

次に、議案第二十三号、昭和五十三年度館山市一般会計補正予算第六号であります。歳入歳出それぞれ四億六千七百三十万二千円を追加し、総額七十億七千七百八万一千円とするものであります。歳出追加のうち主なものは、赤字生活路線バスを維持するための補助金として三百八十六万九千円、受給者の増加等による心身障害者児医療給付扶助費二百一十九千円、医療扶助費九百九十六万五千円、県営圃場整備事業のうち公共性が高い界橋架換工事及び幹線排水路暗きょ工事の負担金で一千五百六十九万八千円、県営工事であります県道改良舗装工事及び館山港修築工事の負担金で六百九十四万二千円、中央公園用地購入費として五千八百七

万七千円、小学校児童増加に伴う机、椅子の購入費百万円、将来の公債費負担の軽減を図るため、利率の高いものについて繰上償還するための元利償還金四億五千三百五十七万八千円等でございます。また、歳出予算の減額補正としまして給与改定費の減額等に伴う安房郡市広域市町村圏事務組合負担金で一千四百六十万円、収容者の減に伴う老人ホーム収容措置扶助費で一千二百万円、県営事業費の減に伴う館山運動公園整備事業負担金で一千万円が減額の大きなものであり、これら補正財源として、市税、地方交付税、国、県支出金、市債等をもって充当するものであります。

なお、このほかに債務負担行為、地方債の補正等があります。次に、議案第二十四号、昭和五十三年度館山市国民健康保険特別会計補正予算第二号でございます。歳入歳出それぞれ九千九百二十四万九千円を追加し、総額十五億三千四百八千円とするもので、この主なものは、診療報酬九千六百四十四万七千円の追加でございます。この財源として国庫支出金、繰越金を充当するとともに国保税について六千万円の減額補正をするものであります。

次に、議案第二十五号、昭和五十三年度館山市水道事業特別会計補正予算第三号でございます。収益的収入で県からの市町村水道総合対策補助金が一千百七十六万三千円、資本的収入で加入者分担金が二百七十万円、収入合計一千四百四十六万三千円、収益的支出中営業費用で一千百五十七万円の減額、資本的支出では揚水ポンプ購入費に二百七十万円の追加補正により支出合計八百八十七万円の減額を計上いたしました。

以上が、今回提案いたしました議案の概要であります。なお、

この際当面する諸問題について報告申し上げます。

まず、し尿処理場の建設でございますが、豊房の出野尾地区を候補地といたしまして予算審議をお願いするところでありますが、五十五年度で完成したいと考えております。この事業推進に当たりましては、今後とも地域住民はもとより関係者の十分な理解と協力をいただき、積極的に推進してまいりたいと考えております。

また、ごみ処理施設につきましても老朽化が著しいため早期解決を図らなければならない状況にあります。し尿処理施設建設の見通しがつき次第、準備にかかりたいと考えております。

次に、中学校の統合問題であります。中学教育のより効果的な成果を図るため現在の中学校を再編成いたさねばならないと存じます。この計画は、PTA関係者及び地域住民の方々と協議を重ね、大方の賛意が得られましたので、五十五年四月を目途に第三中学校の建設と残された諸問題を解消し、中学校統合を図ってまいりたいと考えております。

次に、交通網の整備でございますが、国道一二七号館山バイパスにつきましまして、那古地区の県宮ほ場整備区域内における道路用地の買収交渉がすすめられております。しかしながら未だ一部未測量部分と全体の基本設計が作成されておりませんので、この早期完成を国にお願ひし、住民に対する公表と地権者等、地域住民の理解協力を得ながら促進してまいりたいと考えております。

また、内房線複線化につきましても県を中心とする内房線複線化促進期成同盟と相まって関係機関に対し、積極的に働きかけてまいります。

次に、都市問題についてであります。近年の首都圏の拡大等

により本県においても都市化が進み、都市間競争の激化を招いている現況下におきまして南房総地域の環境も大きく変化するものとが予測されます。これに対応すべく都市構造を検討することが今後の課題と考えますので、調査、研究のためのプロジェクト・チームを編成し、先般の館山海浜開発診断報告、公共下水道問題等を併せ総合的に検討し、自然を生かした魅力ある近代的都市実現に努力してまいりたいと考えております。

最後に、コミュニティ会館の建設について申し上げます。

コミュニティ会館を推進する上で会館の必要性につきまして昨年度も申し上げたところでありますが、五十四年度を検討期間とし、財政計画、関係機関との調整を図りながら早期実現を期したいと考えております。

以上、私の所信とこの度提案いたしました案件の概要を説明いたしますとともに、当面の諸問題について報告いたしました。詳細につきましては、ご質問に応じ私、又は、事務担当者からお答えいたします。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で市長の施政方針並びに議案の提案理由の説明を終ります。

延 会 午前十時五十七分延会

○議長（吉田勇治郎君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明三月三日から六日まで議案調査のため休会、次会は三月七日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

○ 本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、会議日程の決定

一、議案第一号乃至議案第二十五号

